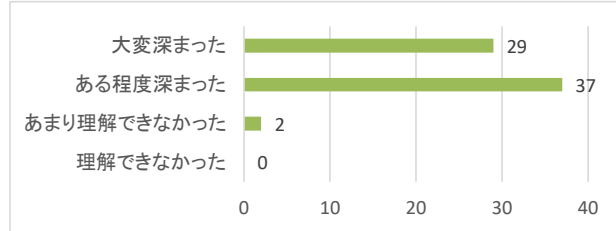


九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム キックオフ・シンポジウム アンケート結果

アンケート回答者68名(104名参加)

問1. 本事業についての理解は深まりましたか

大変深まった	29
ある程度深まった	37
あまり理解できなかった	2
理解できなかった	0

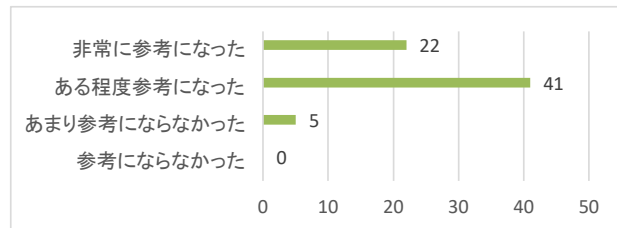


意見・感想

- ・本事業の必要性に関して頭を整理することができた。プラットフォーム形成の重要性は理解できた。
- ・本日のシンポジウムで、参加大学・短大、県〇当局との理解が深まった。今後はセクションの具体的話し合いと共に進捗状態を披歴する全体会を開催していただきたい。さあ！！これからですね！！
- ・結局数年後に何をどう変えようとしたのかがよく理解できなかった。
- ・文科省の話は良かった。
- ・プラットフォームなる言葉が、鉄道駅以外で聞いたことがなく、ようやくその意味が分かりました。

問2. シンポジウムの内容はプラットフォームの推進にあたっての参考になりましたか

非常に参考になった	22
ある程度参考になった	41
あまり参考にならなかった	5
参考にならなかった	0



意見・感想

- ・主導権の話で、温度差がわかった。
- ・一色さんの話の中にオブラートに包みながら、大学の統配合の話がちりばめられていたので、やはりプラットフォームの中身をしっかりと作っていかないとイケんと思いました。
- ・具体的に何をどこまで進めるのかがよくわからなかった。
- ・具体的な事業内容の話があればもっとよかったですと思います。
- ・事業推進の具体的事例があれば参考になります。
- ・長崎県自治体代表者：松尾様 簡潔さ、明確さ、よく理解できました。より具体的な話をお伺いしたかった。
- ・プラットフォーム参加校以外にもオープンにして、多様な意見を集めたいかがでしょうか？
- ・自治体や産業界の関わりが、まだまだだと感じました。この取組が県の活性化につながるという意識が不十分ではないでしょうか？
- ・何をやるのか、何ができるのかが、以前より明確になってきた。プラットフォームを各大学や機関がいかに利用するのがポイントであることもよく分かった。
- ・上に書いたように具体的な事柄が見えにくい。産業界からの提案のように、人口減を見据えてイメージしやすい将来像をつくる努力が必要かと思う。
- ・プラットフォームの費用は総務省から佐賀県、長崎県におりてきて、各大学・短大に配られます。従って佐賀・長崎の両県の担当者が深く理解することが必要である。両県の山は、中村知事の理解は勿論、県担当者へのアプローチが大切です。

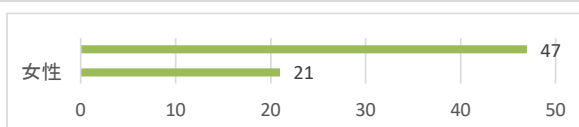
問3. これからの本プラットフォーム事業の推進にあたり、ご意見やご提案がありましたらご記入願います

- ・地域課題を解決するための連携の取組に期待します。
- ・各大学・短大の強みを明確に打ち出していくことを期待します。
- ・シンポでも発言の通り、まずは佐賀・長崎両県の教育素材となる「維新博」の活用をご検討ください。
- ・COC、ブランディング、プラットフォームと立て続けに補助金を当てることはとても素晴らしいことだと思います。
- ・次回は是非、長崎県(佐世保)で開催していただき、当地の意欲を拜見させていただきたい。
- ・具体的提案をプラットフォームへと具体的に進めていく手続きを知りたい。
- ・キックオフ・シンポなので概略ということは分かるが、もう少し具体的な話がないと先が見えない。
- ・長崎産業会の方が「豊かな暮らし」がどんなものかを、外国の例を参考に県民や若者が知るのが大事という話が、印象に残りました。
- ・若者流出、アジアからの介護職予備軍の方を考えると、公費が研究費で佐賀・長崎の大学全域でwifiを自由に使える環境がまず必要では？特徴があっても、FacetimeやZoonが使えることが大前提ですよネ！
- ・学科としてどの部分でどのようなことを今後をしていくかについてまだ充分には把握できなかったが、これからに期待する。将来地域で活躍する多様性のある人材を育てていきたいと改めて考える機会となった。
- ・提案された具体例を進めることができるでしょうか。
- ・大学間連携だけでなく、行政側との連携について調節が必要かと思います。特に県レベルではなく、市レベルも必要かと・・・。
- ・新たな事業を立ち上げるばかりでなく、すでに動いているCOC+の発展型のような形を取られたら理想的である。プロジェクトを線でつなぐ作業が最も必要なことと考える。
- ・本格的にスタートする平成30年度に向けて、有意義なキックオフになったと思います。
- ・プラットフォーム内での交流や情報共有を促進する機会や場を設けてほしい。その中で共同で取り組む新しいプロジェクトを生み出してもらいたい。
- ・大学の覚悟、行政の覚悟が問われる事業である。豊かな知恵が生み出されることを期待したい。
- ・本日はお世話になりました。本プラットフォームの成果に期待しております。
- ・ダイバーシティと言いながら7人のパネリスト7人男性ばかりはいかがでしょうか？
- ・具体的に話し合う場が必要ですね。
- ・西九州大学の福元学長のミャンマーよりの介護人材の学生確保については非常に役に立ちました。是非私達(長崎短期大学、長崎国際大学)も取り入れたいと思います。よろしくご教示ください。

問4. ご自身についてお答えください

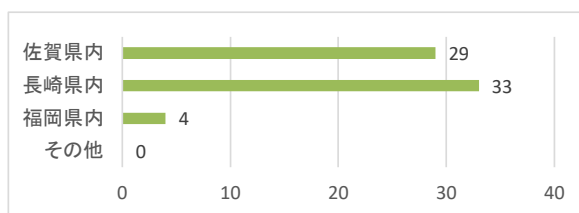
①性別

男性	47
女性	21



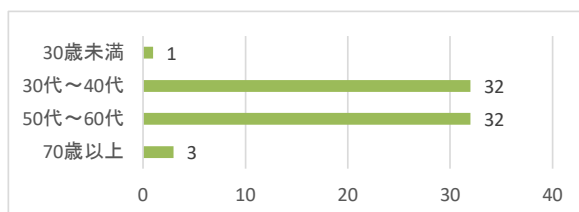
②居住地

佐賀県内	29
長崎県内	33
福岡県内	4
その他	0



③年齢

30歳未満	1
30代～40代	32
50代～60代	32
70歳以上	3



④所属

大学・短大	62
地方公共団体	5
経済産業会	0
その他	0

